



2022年度 Web×IoT メーカーズチャレンジ PLUS in 徳島  
**協賛のご案内**

2022 年 10 月

Web×IoT メーカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会

事務局担当：谷岡

# 開催趣意

## Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS (WIMC+) について

Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS は、目指すべき未来社会の姿として提唱される Society 5.0 時代に特に必要とされるスキルを持つエンジニア人材を、主に地方都市に増やすための取り組みです。

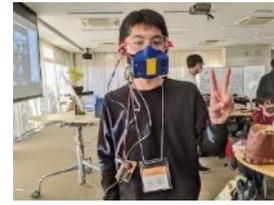
DXをはじめとしたこれからの「つながる」社会の実現に欠かせない「相互可用性 (Interoperability)」に着目したカリキュラムのもと、標準技術やオープンソースソフトウェア (OSS) 利活用についての理解を深めながら、IoT システム開発を実践的に学ぶためのスキルアップイベントを実施します。

前半に行うハンズオン形式の講習会では、ボードコンピュータを使って、Web標準技術でセンサーやアクチュエーター (モーター等) を制御方法を実践的に学びます。後半のハッカソンでは、講習会で学んだ技術を活用し、チームを組んで実際に地域や身近な課題を解決する IoT デバイス制作にチャレンジします。

本イベントは、2017年度から2020年度の4年間、総務省事業の一貫として全国各地で開催され、延べ33の地域で実施。約900名以上の参加者がチームを組み、地域課題や身近な課題を解決するためのIoTシステムの開発に自ら挑戦し、200以上のアイデアがIoTの試作品として誕生しています。

2021年度からは、総務省と Beyond 5G 新経営戦略センターによる支援のもと、本イベントの開催に意欲を持つ地域の組織が実施主体となり、地元の発意による自立的なイベントとして実施しています。

イベント公式サイト <https://webiotmakers.github.io/>



# 基本方針と特徴

## 1. ハンズオン形式の講習とハッカソンでのものづくり体験

「ハンズオン講習会」と「ハッカソン」の2つのイベントを通じたスキルアップの機会を提供します。

## 2. Web標準技術を使ってIoTシステム開発を学ぶ

情報システムの共通基盤技術でもあるWebで標準的に使われているプログラミング言語やAPI、ネットワークプロトコルを使ってハード・UI・システム構築を学び、「IoT作品制作」の機会を提供します。

## 3. ハードとソフト双方のフルスタックなスキルを身につける機会

従来は別レイヤーとされ、開発者が分かれて担当してきた「ハードウェア」と「ソフトウェア」の垣根を超えたフルスタックなスキルを身につける体験型スキルアップの機会としています。

## 4. アクティブ・ラーニングの場

能動的な経験を基に、失敗から学ぶ「アクティブ・ラーニング」の場としています。

## 5. 初学者のためのハッカソン体験

人材育成の手法としてハッカソンを活用します。結果よりもプロセスを重視し、ハッカソン体験を通じてエンジニアとしての自信をつけるきっかけや、知識の共有、その後の自発的な学習意欲向上を目指します。

## 6. プロジェクトマネジメントやチームワークを実践的に学べる機会

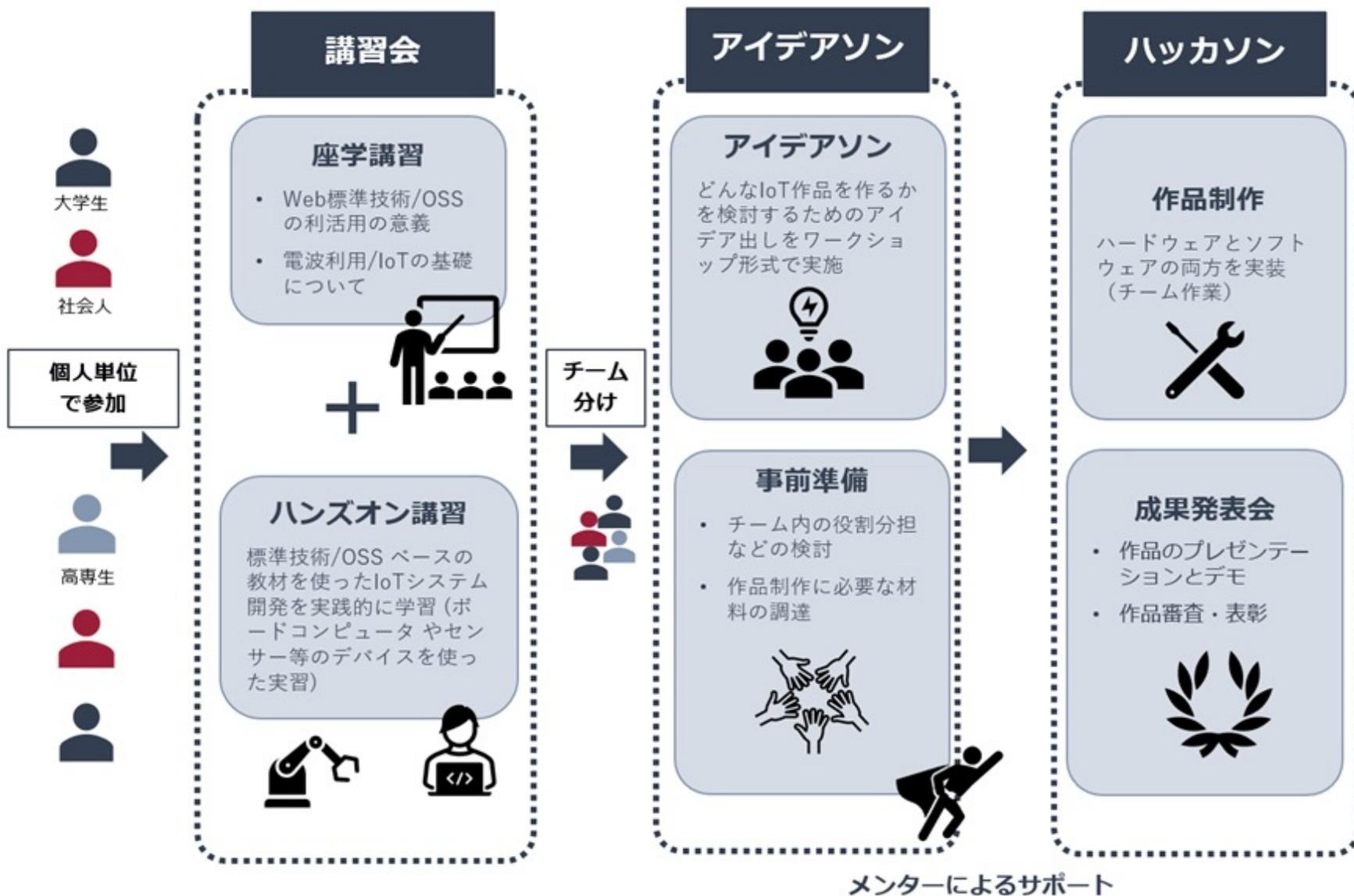
チームでの作品制作を行う中で、オンラインコミュニケーションを含むチームワークやプロジェクトの進行を実践します。

## 7. オープンでフラットな実施・運営体制

受講者だけでなく運営側も各自ができることに貢献することを意識した運営体制で実施します。

# イベントの実施イメージ：

参加者層やカリキュラムの詳細は、地域の企画内容によって異なります。以下は、典型的なイベント開催フローの一例です。



# 徳島地域の参加者層

- 主な対象は、学生や若手社会人をはじめとしたIoT開発の初学者です。
- 徳島地域の過去2回の開催では、中高生から社会人まで幅広い参加者層でした。

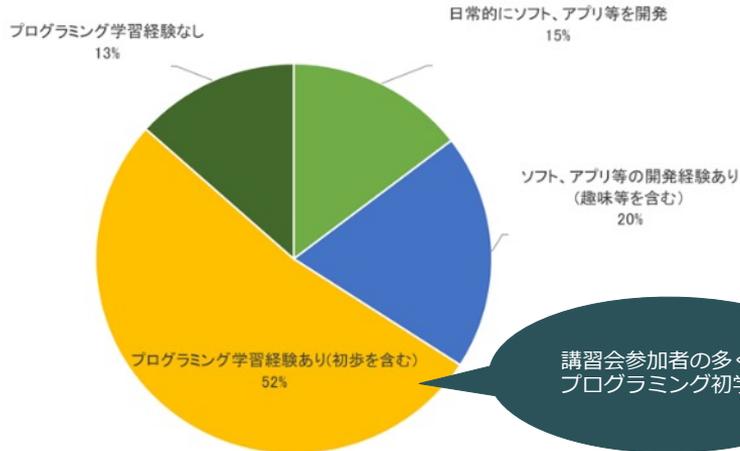
## Web×IoT メーカーズチャレンジ in 徳島 過去の参加者内訳

	2020年度 参加者内訳		2021年度 参加者内訳	
中学生・高校生	6名	中学生4名、高校生・高専生2名	3名	中学生1名、高校生2名
大学生・大学院生	3名	鳴門教育大学、愛媛大学、 東京農工大学	2名	徳島大学、鳴門教育大学
社会人	10名	IT系9名、非IT系1名	3名	IT系2名、非IT系1名
<b>計</b>	<b>19名</b>		<b>8名</b>	

# 昨年度参加者のアンケート結果

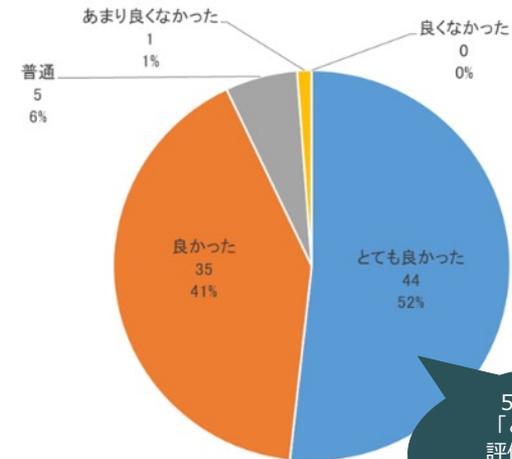
2021年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 参加者アンケート集計結果より抜粋

## 参加者のプログラミング経験



講習会参加者の多くはプログラミング初学者

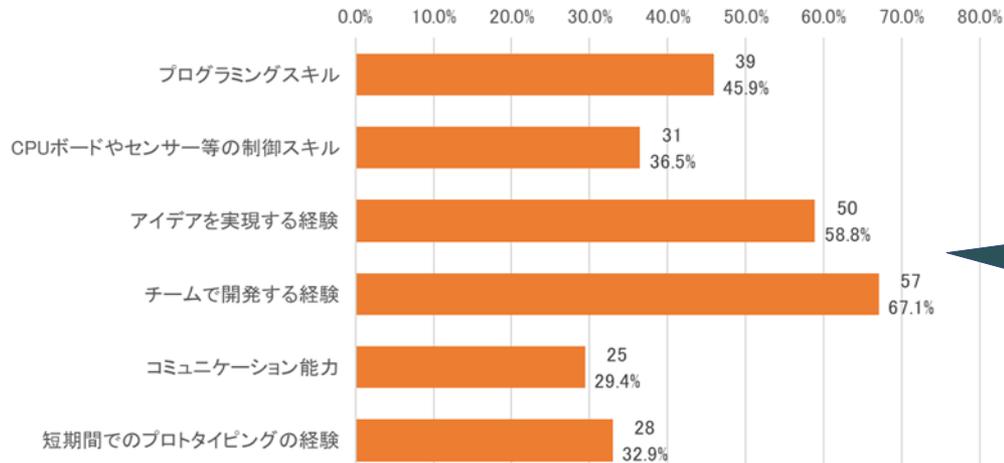
## ハッカソン参加者の満足度



5割以上の参加者が「とても良かった」と評価。「良かった」と合わせると93%の参加者が高評価

## ハッカソンに参加して得られたと思えること

※複数選択可



多くの参加者からプログラミングスキルの向上だけでなく、チームでの開発経験やアイデアを実現する経験が評価されている。

# 参加者の声

2021年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 参加者アンケート集計結果より抜粋

- グループで一つの目標に向かう楽しさが味わえました。システム開発ができてよかったです。（香川参加者）
- 普段経験することのない事を多く出来てとても良いものになりました。（香川参加者）
- 自分でも驚くほど技術が向上することができ、ためになった。（香川参加者）
- 今回のイベントに参加をして、色々な知識を得ることができたので、とても良かったです。（徳島参加者）
- また参加したいと思います。（徳島参加者）
- 新たな学びが沢山あった。優秀な方々と話したり、開発している姿をみたりして、私ももっと勉強をしてそうなりたと思った。（鳥取参加者）
- 本イベントを通して IoT を用いてセンサー類を制御する技術を学ぶことができ、年齢の違う人たちとチームを組み一つのものを作り上げる難しさと達成感を知ることができた。ありがとうございました。（鳥取参加者）
- プログラミングやハード作成に自信がなかったのですが、今回それを経験して自信につながりましたし、それ以外の場面で能力を発揮できたのが良かったです。（鳥取参加者）
- 全く知識もなく、右も左もわからずに参加させていただきましたがチームメンバー、メンターさんをはじめとする様々な方にお世話になりました。ありがとうございました。また、機会があればレベルアップした姿でこのイベントにかかわらせて頂きたいと思えます。（岡山参加者）
- 自身の知らない知識、手法を用いて問題解決を提案してくれるメンバーと作品制作が出来て大変参考になりました。運営の方々におかれましては、コロナ下でイベント継続を模索していただきありがとうございました。（岡山参加者）
- Raspberry や IoT 機器を扱うことはもちろんのこと、所属大学や年代という枠ぐみをこえて、様々な方とコミュニケーションを取り、なにか一つのプロジェクトを進行していくことは、自分自身とてもよい経験になったと思えます。（岡山参加者）
- 初め数週間は実際の形がなかなか見えてこず不安だったが、発表時には形にすることができてよかった。自分でも更に学びと経験が必要だなと思った。（信州参加者）
- IoT の基礎を知ることができ、実際にグループでつくることでうまくいくことやうまくいかないことを経験できました。また、他のグループの発表でもいろんなアイデアがあり、多様な IoT のカタチを知ることができたかなと感じました。（信州参加者）

# Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会 構成員

Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会は、「Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 徳島」を企画・実施することを目的とし、以下の有志メンバーにより構成されています。

※以下、2022年10月時点の構成員（五十音順、敬称略）

運営委員		
主査	谷岡 広樹	徳島大学 情報センター / デザイン型AI教育研究センター 講師
委員	清瀬 由香	特定非営利活動法人チルドリン徳島 共同創設者
	本橋 大輔	神山メイカースペース 副代表
	蔭西 義輝	公益財団法人 徳島経済研究所 上席研究員
	岡淵 篤志	ケーブルテレビ徳島株式会社 営業本部 営業戦略部
	眞鍋 厚	スタンシステム株式会社 代表取締役社長
	曾根 直人	鳴門教育大学大学院 技術・工業・情報分野 准教授 / 情報基盤センター所長
	阿利 政徳	徳島県政策創造部地方創生局デジタルとくしま推進課 係長
	藤本 豊大	徳島県政策創造部地方創生局デジタルとくしま推進課 主任
オブザーバー		
総務省 四国総合通信局 情報通信部 情報通信振興課		

# 2022 年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 徳島 スポンサー募集

現在、2022 年度の開催を計画しております。

本イベントの開催趣旨にご賛同いただけるスポンサー様を募集いたしております。

開催概要	
イベント名称	2022 年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS in 徳島
主催	Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会 徳島大学 デザイン型AI教育研究センター
共催	該当なし
協賛	四国情報通信懇談会、ケーブルテレビ徳島株式会社
協力	徳島県、徳島大学、鳴門教育大学、公益財団法人徳島経済研究所、特定非営利NPO法人チルドリン徳島、神山メイカースペース、スタンシステム株式会社、KDDI株式会社、CHIRIMEN Open Hardware、Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会、CoderDojo Tokushima
後援	総務省 四国総合通信局、徳島県IoT推進ラボ、Beyond 5G 新経営戦略センター
開催日程	ハンズオン講習会：2022年11月12日(土)、13日(日) ハッカソン：2022年12月3日(土)、4日(日)
会場	徳島大学 常三島キャンパス
募集人数	20名程度
参考URL	公式サイト <a href="https://webiotmakers.github.io/">https://webiotmakers.github.io/</a>

# ご協賛のメリット

- IoT開発やWeb標準技術をはじめとしたソフトウェアとハードウェア双方の技術や開発に関心を持つ県内のアクティブな学生への直接訴求の機会となります。
- 参加者または、ハッカソンメンターとして貴社スタッフの方にご参加いただくことで、地元の社会人と若手人材と一緒に手を動かす出会いの場となります。
- 自社若手エンジニアの実践的なスキルアップの機会として、本イベントの受講を社内の人材育成に活用いただくことも可能です。
- 地域でのエンジニア同士の情報交換の場となります。
- 総務省ブランドのイベントであり、過去の参加者アンケートからも参加者から高評価が得られている地元開催のエンジニア人材育成イベントへのご支援により、貴社のイメージアップやプレゼンス向上に…

# ご協賛特典例 ① (メインスポンサー様の特典)

## 公式サイトへのロゴ掲載

### <掲載イメージ>

地域のメインスポンサーとしてご協力をいただいた場合の特典として、全地域共通の「Web×IoTメイカーズチャレンジ PLUS 公式サイト」への貴組織ロゴを掲載させていただきます。

### <掲載例>

<https://webiotmakers.github.io/2021/about/>

公式サイトには、Web×IoTメイカーズチャレンジ PLUS 全体への「協力」として、中央実行委員会の参画組織や各地の主催事務局組織のロゴを掲載しております。

これに加えて、各地域での自律開催に多大なご協力をいただくメインスポンサー様のロゴについても公式サイトに掲載をいたします。

メインスポンサーの定義は、地域毎に異なるため、協賛枠の条件等は、地域の主催事務局にご確認ください。



2021年度開催地域  
信州 鳥取 岡山  
徳島 香川

本イベントについて  
開催概要  
グランプリ決定戦  
表彰作品  
教材集



アーカイブ  
ハッカソン作品集  
2020年度  
2019年度  
2018年度  
2017年度

事業主体



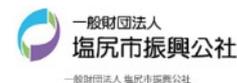
### 2021年度開催概要

名称	2021年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS
実施期間	2021年10月以降 2022年3月まで (各地で順次開催)
開催地域	信州、鳥取、岡山、徳島、香川
主催	各地域ごとの地元運営委員会による主催
後援	Beyond 5G 新経営戦略センター
事務局 (イベントシリーズ全体)	Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会事務局 (一般社団法人 WebDINO Japan) Email: info-wimc (at) webdino.org

### 事業主体



協力 (五十音順)



貴組織ロゴの掲載

# ご協賛特典例 ② (メインスポンサー様の特典)

## ハッカソン作品テーマのヒントとなる事例や課題のプレゼン機会提供

ハッカソンでどんな作品を作るかの検討を行うため、講習会後にアイデアワークショップ (アイデアソン) を行います。

参加者達がアイデア出しを行う前に、IoTで解決したいことを想起させるヒントとなるような「注目している課題」や「地域での事例」などを貴社からご紹介いただく 10~15分程度のショートプレゼンテーション (インプットトーク) のご登壇も可能です。

貴社からのお話をヒントに、参加者が意見を出し合うワークショップとなるため、有意義な直接訴求の機会となります。

### <実施イメージ>



課題やアイデア出しのヒントとなる事例等の紹介



アイデアワークショップ (アイデアの発散)



制作する作品の具体的な検討



ハッカソンでの作品制作

- CSR的な観点から地域の課題などのご紹介
- 御社が注目されている分野の課題についてのご紹介 など

# ご協賛特典例 ③ (Aプラン以上のスポンサー様の特典)

## ハッカソン成果発表会等での貴社アピールタイムのご提供

ハッカソン成果発表会等、参加者全員が集まるタイミングで、スポンサー様からの宣伝の時間を設け、5分程度で貴社のご紹介をしていただくことが可能です。

ハッカソン結果発表前の時間帯など、全員が注目するタイミングに貴社の宣伝をしていただくことで、参加者だけでなく、関係者や見学者にも訴求が期待できます。

### <ハッカソン成果発表会イメージ>



# ご協賛特典例 ④ (通常特典)

## 協賛社名の露出等

ご要望に合わせて、以下のような協賛特典のご提供が可能です。

- ① イベント当日に投影するタイトルスライドへのロゴ掲載と口頭での社名紹介
- ② 参加者募集時のチラシへの社名またはロゴ掲載
- ③ イベント会場内での貴社チラシ、ノベルティ等の配布
- ④ 社会人参加枠の優先参加
- ⑤ 貴社名を冠した賞の設置等 (条件等により調整が必要になります)



前半イベント

### ハンズオン講習会

Raspberry Pi Zeroを使って JavaScript によるハードウェア制御を学ぼう!

2021年12月11日(土)  
～ 12日(日)

会場: 岡山大学 津島キャンパス

後半イベント

### ハッカソン

講習会で学んだ知識を活かしてIoT 作品作りに挑戦しよう!

2022年1月29日(土)  
～ 30日(日)

会場: 近日決定予定 (岡山市内の会場で開催中)

### 参加特典

- ・ ハッカソンでの作品制作にかかる材料費 (1チームあたり MAX 20,000円) の補助あり!
- ・ 参加者には講習会・ハッカソン全課程参加の証となる修了証を授与
- ・ ハッカソン最優秀賞受賞チームは、2022年3月開催予定の全地域を対象としたオンライン合同発表会での作品発表の機会が提供されます。
- ・ 最優秀賞受賞チームのメンバーには、総務省中国総合通信局より局長賞を授与!

Web x IoT メイカーズチャレンジ PLUS ポータルサイト

<https://webiotmakers.github.io/2021>



## <ロゴ掲載の一例>



ハッカソン成果発表会

2022年3月6日(日) 13:30~



主催: 中国情報通信懇談会 / Web x IoT メイカーズチャレンジ PLUS 岡山運営委員会  
 協力: 岡山県 / 岡山大学 / 岡山県立大学 / 岡山理科大学 / 公益財団法人 岡山県産業振興財団 / 一般社団法人 システムエンジニアリング岡山 / 岡山ネットワーク株式会社 / コニカミノルタ株式会社 / 一般社団法人 WebDINO Japan / 中国地域 ICT 産学官連携フォーラム / 岡山大学 DS部 / CHIRIMEN Open Hardware / Web x IoT メイカーズチャレンジ PLUS 中央実行委員会  
 後援: 総務省中国総合通信局 / 株式会社 中国銀行 / おかやま IoT推進ラボ / Beyond 5G新経営戦略センター  
 協賛: 株式会社 システムズナカシマ 両備システムズ 株式会社 英田エンジニアリング 株式会社 システムタイズ / 株式会社 システムエンタープライズ

# 協賛プランと特典

協賛 プラン	社名等の露出			告知		社会人枠 への 優先参加	アイデアソン での インプット トーク登壇
	全地域 共通 ポータル サイト	イベント時 ロゴ投影 と社名紹介	募集時 チラシ	配布物 (チラシ等)	貴社PR タイム (アピールタイム 登壇)		
メイン スポンサー プラン (50万円)	ロゴ掲載	ロゴ掲載 (大)	ロゴ掲載	全員への 配布 2種類迄	○	4名まで	○
Aプラン (20万円)	×	ロゴ掲載 (中)	ロゴ掲載	全員への 配布 1種類	○	3名まで	×
Bプラン (10万円)	×	ロゴ掲載 (中)	社名の テキスト 掲載	会場内に 平積み 設置	×	2名まで	×
Cプラン (5万円)	×	ロゴ掲載 (小)	社名の テキスト 掲載	会場内に 平積み 設置	×	1名まで	×

※ イベントの参加者募集開始後のタイミングにご協賛のお申し込みをいただいた場合は、チラシへのロゴ/社名掲載特典が受けられない場合がございます。何卒ご了承ください。

# 協賛のお申し込みとお問い合わせ

## <お問い合わせ / お申し込み>

Web×IoT メーカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会事務局

(担当:谷岡)

Email: tanioka.hiroki@tokushima-u.ac.jp

協賛のお申し込みについては、以下の内容を明記の上、担当事務局まで Email にてご連絡ください。特典についてのお問い合わせも承っております。

1. 企業名・団体名 :
2. 連絡先担当者氏名 :
3. ご担当者様部署名 :
4. ご担当者様メールアドレス :
5. ご住所 :
6. ご担当者様お電話番号 :
7. お申し込みの協賛メニュー  
(メインスポンサープラン・Aプラン・Bプラン・Cプラン)
8. 見積書発行 【要・不要】
9. ご請求書発行形態 【郵送を希望・PDF請求書のメール添付を希望】
10. ご請求書送付先住所 (請求書郵送の場合のみ) :

ご支援についての検討の程よろしくお願い申し上げます

**本イベントに関するお問い合わせ**

Web×IoT メーカーズチャレンジ PLUS 徳島運営委員会  
事務局 (徳島大学 情報センター)

担当 : 谷岡 広樹 宛

Email: [tanioka.hiroki@tokushima-u.ac.jp](mailto:tanioka.hiroki@tokushima-u.ac.jp)